



## 農家民泊を機に広がる 新たなつながり

「楽しんで生きよう」がモットー  
みんなが集う安曇野のお母さん

小山田 桂子 さん（穂高）



また、農家民泊を始めたところから本格的に農業にも取り組み始めました。それまでは家庭菜園を楽しむ程度でしたが、民泊事業者の研修会などで新たにできた友人から誘われ、体験農場に参加するように。次第に農場でも友人が増え、そのつながり

以前大勢で泊まりに来てくれたうちの男女がその後交際を始め、数年後結婚報告をしに泊まりに来てくれました

農家民泊の受け入れを始めたきっかけは友人の勧めでした。もともと親族の集まりや娘の友人が大勢で泊まりに来た時などに料理をふるまったり、おみやげや漬物を作って友人におすそ分けしたりすることが好きだったこともあり、「おもしろそうだし、まずは1回やってみよう」と、チャレンジしました。以来7年間、登山客や修学旅行生、外国人など多くのお客さんに利用してもらっています。

おもてなし好きな小山田さんは、自宅の空き部屋を利用し「マドレん家」として多くのお客さんを受け入れていきます。農家民泊の受け入れを始めたきっかけや寄せられる思いを聞きました。

お客さんからは「マドレ」と呼んでもらっています。「マドレ」とは、スペイン語でお母さんという意味。民泊は、受け入れた家庭で生活を共にするため、「田舎のおばあちゃん家」を意識し、時には世話も焼いています。例えば食事の時、嫌いなものが出てきた子に「がんばって1個は食べてみよう。無理だったら残していいよ」と言うと、一口食べるんです。そして「1個食べてみたらおいしくて全部食べられたよ」と完食。こういう関わりが持てることは嬉しいです。また、よくふるまうおやきは、安曇野では特別なものではありませんが、都会の人にとっては感動するものだと感じています。こういった、自分にはない都会の風や若者の感性から受ける刺激が元気の源になっています。

た。さらに、子どもが生まれた報告も。お客さんと世代を超えてつながりを持ち、マドレん家が安曇野に訪れた時の「みんなが集まる場」になっていることが嬉しいです。お客さん、友人などいろんな人とのつながりを大切に、今後も楽しみながら民泊の受け入れを続けていきたいです。

### MEMO

○農家民泊  
旅館業法の許可が必要な農家民泊とは異なり、一般農家が自分の家に旅行者を宿泊させるもの。  
○マドレん家  
小山田さん夫婦が営む宿兼自宅。夫婦のあたたかいおもてなしに加え、小山田さん自慢のおみやげ作りや畑作業が楽しめる。

旧信州新町（現長野市）出身。夫・裕次さんの転職を機に、25年前に安曇野へ移住。農家民泊の受け入れをきっかけに始めた農業に夢中。タマネギやアレッタなど多様な品種の野菜づくりに励んでいる。



### 安曇野の「みんなが集まる場」

## 若いアイデア 安曇野のおいしさを形に

1月6・7日 南安曇農業高校 開発商品限定販売



安曇野の里（豊科南穂高）の3店舗で南安曇農業高校の生徒が考案した商品が2日間限定で販売されました。今回販売されたのは、市と同校の連携事業「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」で、令和4年度に採用された10品のうち「リンゴのレアチーズケーキ」「かぼちゃのあんバター焼き」「安曇野産わさびの信州風和風ピザ」の3品。100個限定（2日間）で用意されたリンゴのレアチーズケーキは2日目の早々に売り切れるなど3品とも人気を集めていました。安曇野BASEの今井俊作さんは「地元の皆さんの温かい声がうれしい。今後も生徒と協力し地産地消を広げていきたい」と手ごたえを話してくれました。

## 火災と自然災害への備え 決意新たに

1月7日 安曇野市消防出初式

市消防出初式が豊科公民館ホールを主会場に開かれ、参加した約330人の団員が予防消防への決意を新たにしました。式典では、元日に発生した能登半島地震の犠牲者や殉職者へ黙とうが行われた後、功労のあった団員や無火災の分団が表彰を受けました。

二木弘団長は毎年のように発生する激甚災害を受け「『自らの地域は自らで守る』の精神に基づき、市民の信頼と期待に応えるべく、あらゆる災害から市民の安全・安心を守るよう精進する」とあいさつ。式典後には分列行進が行われ、音楽喇叭隊の演奏に合わせ安曇野警察署前などを行進し、太田市長らから観閲を受けました。沿道には多くの家族連れなどが集まり団員に手を振る姿が見られました。



## 安心のまちへ ケロポンズと一緒に

12月14日 年末安曇野フェスティバル



安曇野警察署と市は、12月15日からの年末特別警戒と交通安全運動に先立ち「年末安曇野フェスティバル」を初開催しました。会場となった豊科公民館には豊科地域の認定こども園の園児や明南小学校6年生、穂高商業高校ダンス部など約120人が参加し、ステージ発表や合唱などを披露しました。また、早朝に行われた交通安全運動出発式で「一日警察署長」に委嘱されたケロポンズの2人も代表曲「エピカニクス」などを披露。ステージ前に集まった大勢の子どもたちや警察署員たちと一緒に踊って盛り上がりました。園児たちは「知らない人にはついていけない」「ケロポンズと一緒に踊れて嬉しかった」など笑顔を見せてくれました。

